

平成 30 年度事業活動の概要

平成 30 年度は、堀田国元代表理事(理事長)、中山武久(常務理事:財務担当)、菊地憲次(常務理事:事業担当)、8 名の理事(石井良和、岩澤篤郎、小室昭、佐藤勉、丹波章滂、野田衛、藤原功一、森澤紳勝)、2 名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局 3 名(都筑洋子、中藤誉子、福島宏和)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、「ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの事業化」に向け経済産業省の補助金事業へのチャレンジ、また、普及促進事業における新分野、日本臨床微生物学会への機能水の情報提供、さらに(公財)ルイ・パストゥール医学研究センターとの事業提携(特に生物安全講習会など)を実施したことが特筆される。

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

① 東村泰希(石川県立大学 生物資源環境学部 食品科学科 准教授)

分子状水素溶存アルカリ性電解水の腸内環境改善作用が腸管粘膜免疫へ及ぼす波及効果の検証

② 佐藤 勉(東海大学医学部 教授)

アルカリイオン水の口腔保健学的有用性に関する研究

—エナメル質再石灰化促進の作用機序解明と口腔内環境改善効果に関する基礎的検討—

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

伸張性収縮運動後の運動パフォーマンスに対するアルカリイオン水摂取の即時的・経日的効果

② 早川享志(岐阜大学応用生物化学部 教授)

アルカリイオン水と水素強化アルカリイオン水の生体内抗酸化効果におけるニッケル関与の解析と腸内細菌叢への影響評価

③ 高橋 玲(同志社女子大学大学院薬学研究科医療薬学専攻 教授)

アルカリイオン水による骨組織リモデリング調節機構の解析

2. 機能水及び機能水生成器に関する調査研究事業の推進

調査研究推進のために、以下の委員会において検討を行うとともに、各種の研究委託を実施した。

① 飲用アルカリ性電解水評価委員会: アルカリイオン水の作用機序その他の研究

② 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会: JIS B 8701 次亜塩素酸水生成装置 問い合わせ対応

日本規格協会新市場創造型標準化制度活用 JIS 制定後の市場拡大支援事業協力

③ 内視鏡洗浄消毒器委員会: 「消化器内視鏡の洗浄・消毒標準化にむけたガイドライン」日本医師会等との連携

<研究委託>

① アルカリイオン水がだしパックの抽出成分に与える影響

数野千恵子(実践女子大学生生活科学部 教授)

② 熱中症予防を目的としたアルカリイオン水摂取の有用性に関する検証

小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

<研究協力>

① ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの実用化

(慶應義塾大学理工学部 栄長泰明教授 JST フェアー; 堀場アドバンステクノ協力)

((株)コスモテクノ; 経済産業省補助金(サポイン)申請協力)

② アルカリイオン水の齶蝕原性細菌に及ぼす影響についての予備的介入試験

(日本歯科大学東京短期大学 佐藤勉教授 研究班)

3. 機能水及び機能水生成器に関する成果の普及促進事業の推進

1) 賛助会員会合から機能水広報委員会を立ち上げ、戦略的広報のあり方について議論を行った。

2) 事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

(1) 学会等活動支援:

- ① ウォーター研究会: ・セミナー(第73回、第75回)共催、2018年6月、2019年2月、東京
- ② 日本機能水学会: ・第17回学術大会共催; 2018年11月17~18日、富山県高岡市
・「機能水研究」編集; 第14巻
- ③ 日本口腔機能水学会: ・第20回学術大会後援: 2019年3月、東京
- ④ 機能水研究振興財団: ・研修会3回(7月東京、11月高岡、3月東京)、国際交流(CKJ:11月)
・市民公開講座(11月高岡)
- ⑤ ルイ・パストゥール医学研究センター: 機能水研究に関する研究活動支援

(2) 展示会・講演会など

- ⑤ 5月: ifia JAPAN 2018(東京ビッグサイト)、食の安全・科学ゾーン: 展示および講演
講演: 「次亜塩素酸水生成装置のJIS化と展望」: 堀田国元
- ③ 7月: 山梨県福祉保健部 衛生薬務課
講演: 「次亜塩素酸水の基礎知識と食品分野での活用」: 堀田国元
- ② 2月: 第30回日本臨床微生物学会(東京): 展示
- ④ 本、各種雑誌: 『誰でもわかる抗菌・防臭の基礎知識』、クリーンテクノロジー、月刊HACCP、食品工場長、食と健康、日本食糧新聞ほか

2) その他広報・出版物

- ① 上記成果について随時ホームページにアップ
- ② ニュースレター発行: 6回(No.83~88)
- ③ 各種既出版物の頒布

3) コンサルティング

- ① 生成装置等開発・販売に関する相談業務(賛助会員:無料 一般企業:有料)
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

5) 生物安全講習会

ルイ・パストゥール医学研究センターとの連携において、公益事業とし立ち上げを承認、専門委員会を立ち上げて制度設計を開始した。

以上